

147 TWILIGHT CONCERT

ラームスのピアノ四重奏曲

フェデリコ・アゴスティーニ、店主 真積、原田 暉夫、加藤 洋之

入場無料

2026年3月5日(木)

開演18:30(開場18:00) 終演19:30

三井住友銀行東館ライジング・スクエア1階 アース・ガーデン
千代田区丸の内1-3-2 (地下鉄 大手町駅下車 C14出口)



TWILIGHT CONCERT オンライン視聴について

本コンサートは、オンライン中継も行っています。

PC(WindowsおよびMac)、タブレット、スマートフォンにて
下記サイトへアクセスしご観聴いただけます。

※大量の通信容量が必要になるため、Wi-Fi環境での観聴を推奨しています。

▼中継ページ URL

<https://pr.iij.ad.jp/live/>

▼中継ページ 二次元コード



主催

株式会社インターネットイニシアティブ (IIJ)
<https://www.iij.ad.jp/>

インターネット黎明期の1992年、日本でインターネットを普及させるという構想を持った技術者が集まり、IIJは設立されました。誰もが安心して使える社会基盤としてインターネットが発展するよう、IIJは卓越した技術力で、現在も技術開発を先導しています。



協賛

株式会社三井住友銀行 大手町エリア・本店営業部・東京営業部
<https://www.smbc.co.jp/>



制作協力

東京・春・音楽祭実行委員会
<https://www.tokyo-harusai.com/>



世界で活躍してきた四人の名手が贈るブラームスの調べ。

情熱、哀愁、温もり——ブラームスの深奥に迫る一夜。

曲目

ブラームス：

ピアノ四重奏曲 第1番 ト短調 op.25

I. Allegro

II. Intermezzo: Allegro ma non troppo - Trio: Animato

III. Andante con moto - Animato

IV. Rondo alla zingarese:

Presto - Meno presto - Molto presto

TWILIGHT CONCERTについて

コンサートホールから 大手町オフィス街へ「音楽のおくりもの」
大手町の三井住友銀行ロビーで、2008年より毎月1回「ゆうべの音楽」をテーマにしたコンサートをお届けしています。仕事のあと、あわただしかった一日のおわりに、心地よい音楽で心の充電をしませんか。CDやテレビでは味わえない、生の演奏の素晴らしさを感じてください。

／ほか

フェデリコ・アゴスティーニ（ヴァイオリン）

イタリア・トリエステ生まれ。音楽家の家庭に育ち、6歳よりヴァイオリンを始める。トリエステおよびヴェネツィアの音楽院、さらにシエナの名門キジアナ音楽院で学び、サルヴァトーレ・アッカルド、叔父のフランコ・グッリラに師事。16歳でカルロ・ゼッキ指揮のもとでデビューし、以後多数の国際コンクールで入賞を果たす。1986年よりイ・ムジチ合奏団のコンサートマスターを務め、長年にわたりその音楽的中核を担ってきた。室内楽奏者としても世界各地の主要音楽祭に招かれ、教育活動にも力を注ぐ。現在、愛知県立芸術大学および洗足学園音楽大学客員教授。

店村眞積（ヴィオラ）

京都生まれ。桐朋学園大学で学んだ後、1976年にイタリアへ渡り、ピエロ・ファルッリに師事。1977年ジュネーヴ国際音楽コンクール第2位入賞を機に国際的評価を獲得、フィレンツェ五月音楽祭管弦楽団首席ヴィオラ奏者に就任。1984年に帰国後は、読売日本交響楽団およびNHK交響楽団でソロ首席ヴィオラ奏者を歴任し、2011年には東京都交響楽団ヴィオラ特任首席奏者に就任、2024年4月より同団ヴィオラ名譽首席奏者。ソリスト、室内楽奏者としても幅広く活躍し、日本のヴィオラ演奏水準を牽引する存在として高く評価されている。

原田禎夫（チェロ）

NHK交響楽団のチェロ奏者だった父から手ほどきを受け、その後斎藤秀雄に師事。桐朋学園大学卒業後、第33回日本音楽コンクール優勝。1969年に東京クヮルテットを結成し、ミュンヘン国際音楽コンクール優勝を契機に世界的な名声を確立した。同団で約30年にわたり国際的活動を展開した後、1999年に退団。以後も欧米各地で演奏を続け、水戸室内管弦楽団やサイトウ・キネン・オーケストラのメンバーほか、2006年に結成したアミーチ・クヮルテットとしても活躍する。教育活動にも尽力し、国内外で後進の育成にあたっている。

加藤洋之（ピアノ）

東京藝術大学附属音楽高校を経て同大学を首席で卒業。大学院在学中にジュネーヴ国際音楽コンクール第3位に入賞し、ハンガリー国立リスト音楽院に留学、その後ドイツ・ケルンで研鑽を積んだ。国内外のオーケストラとの共演に加えて、欧州の名だたる音楽祭や主要なホールで、ソリストおよび室内楽奏者として国際的に演奏活動を展開。ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の奏者たちと頻繁に室内楽を共演し、特に同団コンサートマスターを長く務めた、ライナー・キュッヒル氏とは1999年以来、国内外で継続的に共演を重ねている。